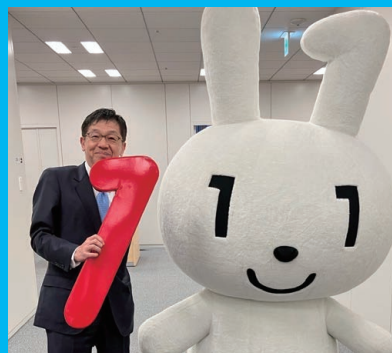




マイナンバーカード公式キャラクター「マイナちゃん」と

医の心で国を守る

デジタル大臣 衆議院議員

日本医科大学特任教授 千葉県医師会顧問

松本ひさし通信

MATSUMOTO Hisashi, MD, PhD, MBA



〈発行〉松本尚政策会議 〒270-1345 千葉県印西市船尾1380-2 TEL:0476-29-5099 FAX:0476-85-4199

討議資料

〈デジタル大臣活動ダイジェスト〉



初入閣後、いきなりの「NHK日曜討論」への出演で、我が国のデジタル化への抱負を話しました。この時は短い時間でしたが、今なら1時間たっぷりと呼論を披露できます。



この日は衆議院予算委員会での閣僚としての初答弁でした。



大臣在職中の総選挙となりましたが、選挙中でも大臣としての仕事はあります。写真は日本成長戦略の「デジタル・サイバーセキュリティ分野」の会議。



在京当番のため、12日間の選挙期間中、6日しか地元に入れませんでした。12万票を獲得することができました。

2025

10月

26日



参議院本会議場での代表質問へ。雑壇からの景色は特別です。

11月

5日

2026

1月

20日



閣僚としての初めての外遊は世界経済フォーラム(ダボス会議)年次総会への出席でした。「Country Strategy Dialogue on Japan」というセッションで、赤沢経産相、小泉防衛相とともに日本の経済戦略について発言しました。

2月

3日



デジタル大臣に再任命され、第2次高市内閣の発足です。

19日

3月

3日



予算委員会での答弁。自分の言葉で語る安定した答弁で高評価を頂いております。

主な成果

デジタル大臣としては、様々な分野で社会のデジタル化を推進することが主たる任務ですが、総理からの指示で「医療DXの推進」も進めてきました。この10ヶ月間ですべての医療機関の電子カルテ化とサイバーセキュリティ対策に目処がたつたところです。さらには、AIと医療を組み合わせた近未来の医療機材の開発に着手して

また、AIによる「自動運転車両の開発」とインフラ整備のための官民の連携体制を構築中です。AIを使った自動運転の開発を急がねば日本の交通は将来、米中に席巻されてしまうでしょう。今が一番大事な時だと思っています。

熊本地震では「災害派遣デジタル支援チーム(D-CERT: Digital Coordination and Emergency Response

Team)」を被災地に派遣、地元自治体のデジタルニーズに対応し成果を上げました。

サイバー安全保障担当大臣として、この10月から施行されるサイバー対処能力強化法に基づく、能動的サイバー防御体制を作り上げるとともに、金融・通信・発電・鉄道などの基幹インフラ企業との協議会の設置、新型AIによるサイバー防御プロジェクトの策定、大学・中小企業などのセキュリティ強化を進めました。

国家公務員制度担当大臣としては、「国家公務員バリューアッププロジェクト」を発表しました。また別途総理からの特別指示として「CBRNETテロ対策の抜本的な見直し作業を行い、新たなアクションプランを設定しました。

*化学・生物・放射線・核・爆発

デジタル大臣特集号！

昨年の初入閣から10ヶ月、総選挙を挟んで第2次高市内閣入閣から6ヶ月が経過しました。この秋には内閣改造の話も出ていますが、今回の「松本ひさし通信」はこれまでの閣僚としての仕事とその間の地元での活動について、ダイジェストで紹介します。

松本ひさしの活動は、ホームページやSNSで発信中！

印西事務所 自由民主党千葉県第十三選挙区支部

〒270-1345
千葉県印西市船尾1380-2
TEL.0476-29-5099
FAX.0476-85-4199

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1009号室
TEL.03-3508-7295
FAX.03-3508-3505



ホームページ



X



Facebook



YouTube



LINE公式アカウント

松本ひさし 検索

matsumotohisashi.com



デジタル行政改革の「課題発掘対話」に参加。民間委員の皆さんとディスカッションです。



デジタル行政推進法と個人情報保護法の改正案を国会に提出。担当大臣として衆議院本会議で趣旨説明のため登壇。



デジタル行政推進法と個人情報保護法の改正案の国会審議が続きます。丁寧な答弁を心がけました。



ラジオNIKKEIでの収録。マイナンバーと給付、医療DX、自動運転、AI利活用、サイバーセキュリティなど、多岐にわたる仕事の説明をしました。



富里スイカまつりに。五十嵐市長、根本JA富里市組合長と一緒にスイカを食す。



新鎌ヶ谷駅で朝の挨拶に。朝の駅頭活動は街頭演説と合わせ、初当選後もずっと続けています。

2026

3月

26日

4月

21日

5月

5日

日EUデジタルパートナーシップ閣僚会議でブリュッセルに出張。EUのヴィルックネン上級副委員長との会談と共同記者会見に臨みました。信頼あるデータ流通、責任あるAIイノベーション、データスペースの相互運用など、我が国とEUの協力連携について意見交換をしました。



国会審議の合間にも地元へ帰って街頭演説を続けています。これが私の政治活動の生命線です。



この日は誕生日でした。サイバー安全保障担当大臣として、新型AIに対する我が国のサイバーセキュリティ対策「Project YATA Shield」について、閣議後のぶら下がり会見を行った時の様子です。

8月

3日



シンガポール出張。同国のテオ デジタル開発・情報大臣と、日星両国間のデジタル分野での協力覚書を締結。

7日

高校生たちが参加するU18 AIチャンピオンシップで、デジタル大臣奨励賞を授与。彼らが将来、我が国のAIエンジニアとして活躍することを期待します！

7月

9日

国家公務員制度担当大臣として、霞ヶ関で働く若手官僚たちとワークショップを開催。彼らの声を制度改革につなげていきます。



毎週火・金曜日の朝には閣議後会見が行われます。この日は、直前に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」について発表しました。



ロボティクス・フィジカルAI戦略最前線フォーラムでスピーチ。こういった経済界の集まりでの講演が続きます。講演やショートスピーチは私の得意とするところ。医療DXの推進では全国の医師会で講演を続けています。



地元では夏祭りが続きます。この日は我孫子市古戸稲荷神社でお神輿を担がせていただきました。日本の良き伝統や風習は守っていかなければなりません。



地元でのミニ集会と束の間のひととき、ブランコに乗って。



プロフィールと活動

松本 尚 1962年6月3日生まれ
(まつもと ひさし)

日本医科大学特任教授 千葉県医師会顧問

昭和37年石川県金沢市生まれ。昭和62年金沢大学医学部卒業。救急医・外傷外科医。医学博士。日本医科大学特任教授。千葉県医師会顧問。日本医科大学千葉北総病院副院長・救命救急センター長を歴任。ドクターヘリの普及に努め、この分野での第一人者となる。ドラマ「コード・ブルー」のほか多数の医療ドラマを監修。千葉県災害医療コーディネーターとして同県のコロナ対策を主導した。

- 昭和62年 金沢大学第2外科学教室入局
10年間にわたり外科医として勤務
- 平成12年 日本医科大学救急医学教室入局
以後救急医・外傷外科医として勤務
- 平成13年 ドクターヘリ事業開始 フライドクター
として同事業を全国に普及する
- 平成20年 ドラマ「コード・ブルー」の医療監修
以降多数の医療ドラマの監修を務める
- 平成21年 NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」
に出演
- 平成26年 日本医科大学教授就任
- 平成29年 経営管理学修士(MBA)取得
(英国Anglia Ruskin大学)

- 令和2年 千葉県医師会理事就任
産経新聞「正論」執筆メンバーに加わる
- 令和3年 第49回衆議院議員総選挙当選(千葉県第13区)
日本医科大学特任教授就任
- 令和5年 防衛大臣政務官 就任
千葉県医師会顧問就任
- 令和6年 第50回衆議院議員総選挙当選(千葉県第13区)
外務大臣政務官 就任
- 令和7年 デジタル大臣 就任
内閣府特命担当大臣(サイバー安全保障)
- 令和8年 第51回衆議院議員総選挙当選(千葉県第13区)
- 令和8年 デジタル大臣 再任
内閣府特命担当大臣(サイバー安全保障)